

---

# Google アナリティクス 4

## ユーザー プロパティ

and,a株式会社  
更新版:2022年07月14日

# このセミナーを録画させて頂き、アーカイブ化させて頂きたくことについて

## ■セミナーの録画について■

このオンラインセミナーは、弊社にて録画して、アーカイブとしてネットで公開させていただきます。

ご参加の皆様のお名前は、画面に表示されないように、下記のキャプチャーのように、アーカイブを作成させていただきます。

**ユーザー様側の操作によって、右サイドにお名前が出てしまう現象が確認されておりますが、操作内容が特定できておりません。お名前が出てしまった場合は、アーカイブ公開前にモザイクでお名前を隠させていただきます。**

※もし、ご質問をいただく場合は、音声は記録されてしまうため、固有名詞、企業名、企業秘密などは発言しないようお願いいたします

GA4+UA 同時導入 (7) GTM側の設定 (13)  
「測定 ID」の確認のために、GA4に戻って、データストリームへ。

and,a 2022年

GA4 新規導入の方法 / 最初におきたい設定 (GA4オンラインセミナー2022年3月3日開催分)  
25 回視聴 • 2022/03/04

# セミナーについてのご質問

本セミナーは1回30分であるため、申し訳ございませんが、ZOOMのチャット機能でご質問を頂いても、お答えできない可能性がございます。

・ご質問は、本セミナーのサイトのご質問フォームから頂けましたら幸いです。

※ご質問の内容によっては、ご回答を弊社サイト上で解説記事として紹介させて頂く場合があります。ご質問者の企業名やお名前が分かる情報を削除した上で記事化させていただきますが、予めご了承ください。

・ご回答させて頂くまでに時間を要する場合がございます。予めご了承ください。

GA4 Quick

検索



<https://ga4-quick.and-aaa.com/>

The screenshot shows the GA4 Quick website interface. At the top, there is a search bar and a navigation menu with items: セミナー案内, テキストダウンロード, セミナーアーカイブ, サービス案内, 解説記事, このサイトについて, お問合せ・FAQ. Below the menu, a breadcrumb trail reads: ホーム > ブログ > オンラインセミナー > セミナーの内容などについての質問フォーム. A search result is displayed with the title "セミナーの内容などについての質問フォーム" and a date of "2022.02.12". A red box highlights the title and the breadcrumb trail. On the right side, a dropdown menu is open, showing "セミナーの内容等についての質問" and "FAQ", with "セミナーの内容等についての質問" highlighted by a red box. The "anda" logo is visible in the bottom right corner of the page.

# 弊社が運営する「GA4専用 無料コミュニティ」

弊社ではGA4の導入、設定、活用などに関して、質問、相談ができる「GA4専用 無料コミュニティ」を開設しております。

こちらでも当セミナーの講師がご回答させていただきます。

下記のリンクから、全て無料でご利用いただくことができます。

<https://discord.gg/TWzZ75nAHe>




# セミナーテキストのダウンロード

本セミナーのテキストは登録なしでダウンロードしていただくことができます。  
テキストはセミナー後も必要に応じて可能な限り更新してまいります。

GA4 Quick

検索

 <https://ga4-quick.and-aaa.com/>



The screenshot shows the GA4 Quick website interface. At the top, there is a navigation menu with options: セミナー案内, テキストダウンロード (highlighted), サービス案内, 解説記事, このサイトについて, and お問い合わせ・FAQ. Below the menu, a breadcrumb trail reads: ホーム > ブログ > オンラインセミナー > 「GA4【無料】オンラインセミナー」テキストダウンロードセンター (登録不要). The main content area features a red-bordered box containing the text: 「GA4【無料】オンラインセミナー」テキストダウンロードセンター (登録不要). To the right of this box is the 'anda' logo. Below the logo, a section titled '最近の記事' (Recent Articles) lists three items: 'よくあるご質問 (FAQ)' (2022.02.19), 'GA4では、utm\_mediumはどうか？' (2022.02.18), and the current article, '「GA4【無料】オンラインセミナー」(1テーマ30分×全15回) ...' (2022.02.18). A large image of old books is visible on the left side of the page.

# 本日の内容

---

- ユーザー プロパティとは？
- ユーザー プロパティの設定例
  - 設定したユーザー プロパティをカスタム ディメンションとして使う
- 「ユーザー ID」と「ユーザー プロパティ」
  - (1) 「ユーザー ID」の設定
  - (2) user\_id は予約済みのプロパティ名のため、レポートやデータ探索で直接アクセスすることが出来ない件
  - (3) user\_idをカスタムディメンションに設定

---

# ユーザープロパティとは？

# ユーザー プロパティとは？ (1)

ユーザー プロパティとは、地域やメディアの会員情報など、ユーザーを表す属性を意味します。GA4では一部の情報が自動で保存されています(下記の表の通り)。

ユーザー ディメンション	アプリ	ウェブ	タイプ	説明
年齢	○	○	テキスト	ユーザーの年齢層: 18~24 歳、25~34 歳、35~44 歳、45~54 歳、55~64 歳、65 歳以上。
アプリストア	○	×	テキスト	インストールしたアプリのダウンロード元のストア。
アプリのバージョン	○	×	テキスト	versionName (Android) またはバンドルのバージョン (iOS)。
ブラウザ	×	○	テキスト	ユーザー アクションが発生したブラウザ。
市区町村	○	○	テキスト	ユーザー アクションが発生した都市。
大陸	○	○	テキスト	ユーザー アクションが発生した大陸。
国	○	○	テキスト	ユーザー アクションが発生した国。
デバイスのブランド	○	○	テキスト	モバイル デバイスのブランドの名前 (Motorola、LG、Samsung など)。
デバイスカテゴリ	○	○	テキスト	モバイル デバイスのカテゴリ (モバイル、タブレットなど)。
デバイスの機種	○	×	テキスト	モバイル デバイスの機種名 (iPhone 5s、SM-J500M など)。
性別	○	○	テキスト	ユーザーの性別 (男性または女性)。
インタレスト カテゴリ	○	○	テキスト	ユーザーの興味や関心 (アート、エンターテインメント、ゲーム、スポーツなど)。
言語	○	○	テキスト	デバイスの OS の言語設定 (en-us、pt-br など)。
新規 / 既存	○	×	対象外	新規: 最初にアプリを起動したのが過去 7 日以内。 既存: 最初にアプリを起動したのが 7 日以上前。
OS	○	○	テキスト	ウェブサイトまたはモバイルアプリのユーザーが使用したオペレーティング システム。
OS バージョン	○	○	テキスト	ウェブサイトまたはモバイルアプリのユーザーが使用したオペレーティング システムのバージョン (9.3.2、5.1.1 など)。
プラットフォーム	○	○	テキスト	ウェブサイトまたはモバイルアプリが実行されたプラットフォーム (ウェブ、iOS、Android など)。
地域	○	○	テキスト	ユーザー アクションが発生した地域。
亜大陸	○	○	テキスト	ユーザー アクションが発生した亜大陸。

公式ヘルプ: <https://support.google.com/firebase/answer/9268042?hl=ja>



## ユーザー プロパティとは？ (2)

---

自動保存情報(前ページで見た情報)以外で、個別に情報を付与したいケースがあります。例えば、有料会員 or 無料会員別にサイト内の行動にどういう違いがあるか、などの分析をしたい場合です。

その場合は、自分で「ユーザー プロパティ」を設定し、GA4画面上で「ユーザー プロパティ」を「カスタム ディメンション」に設定することで、比較することが可能です。

GTM、GA4を使用することで「ユーザー プロパティ」を設定して、GA4上でユーザー別にレポートを確認することが可能です。

**最大25個(有料版なら100個)**の「ユーザー プロパティ」を追加設定することができます。

公式ヘルプ:

[https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/protocol/ga4/user-properties?hl=ja&client\\_type=firebase](https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/protocol/ga4/user-properties?hl=ja&client_type=firebase)

---

# ユーザープロパティの設定例

## ユーザー プロパティの設定例 (1)

「ユーザー プロパティ」とは、ユーザーを表す属性を意味します。  
ここでは、本セミナーに申し込んで頂いたユーザーに

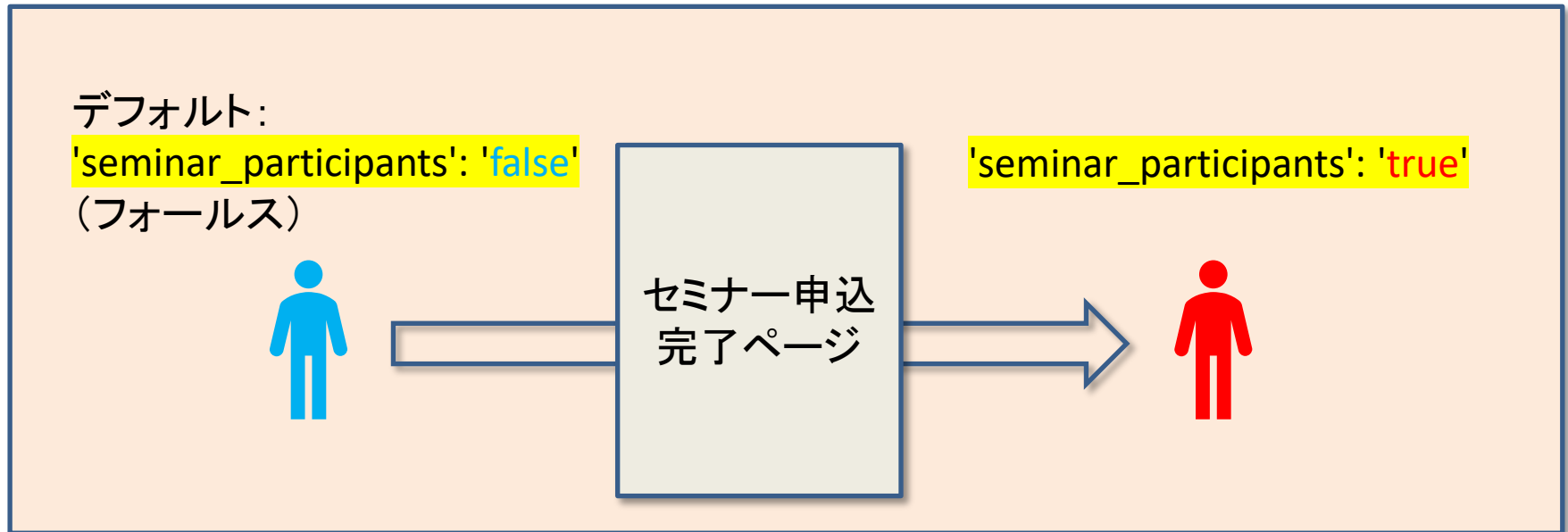
`'seminar_participants': 'true'`

という値を付与するという例を考えます。

セミナー申込完了ページに到達したら、

`'seminar_participants': 'true'`

というユーザー プロパティが与えられられるようにします。



## ユーザー プロパティの設定例 (2)

「セミナー申込完了ページ」に下記のようなデータレイヤーを記述します。

```
<script>
dataLayer.push({
  'seminar_participants': 'true'
});
</script>
```

```
21     item_category: "Online_Seminar",↓
22     item_variant: "ZOOM",↓
23     quantity: 1↓
24   }↓
25 }↓
26 };↓
27 </script>↓
28 ↓
29 <script>↓
30 dataLayer.push({↓
31   'user_id': '2022_SPRING_SEMINAR_0407',↓
32   'crm_id': '2022_SPRING_SEMINAR_0407'↓
33 });↓
34 </script>↓
35 ↓
36 <script>↓
37 dataLayer.push({↓
38   'seminar_participants': 'true'↓
39 });↓
40 </script>↓
41 ↓
42 <!-- Google Tag Manager -->↓
43 <script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push(['gtm.start',↓
44 new Date().getTime(),event:'gtm.js']);var f=d.getElementsByTagName(s)[0],↓
45 j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:'';j.async=true;j.src=↓
46 'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefore(j,f);↓
47 })(window,document,'script','dataLayer','GTM-WKLP4D3');↓
48 <!-- End Google Tag Manager -->↓
49 ↓
50 <!-- Google広告 -->↓
51 <!-- Global site tag (gtag.js) - Google Ads: 10855311679 -->↓
52 <script async src="https://www.googletagmanager.com/gtag/js?id=AW-10855311679"></sc
53 <script>↓
54 window.dataLayer = window.dataLayer || [];↓
55 function gtag(){dataLayer.push(arguments);}↓
56 gtag('js', new Date());↓
```

## (参考) データレイヤーの記述方法

### データレイヤーの値の渡し方は「=」と「.push」の2種類

具体的にデータレイヤー変数へデータを渡す手段としては、JavaScriptで以下どちらかの処理を行います。下記を()内の例で処理した場合、「`seminar_participants`」というデータレイヤーの変数へ対して「`true`」という値が渡されることとなります。

```
<script>  
dataLayer = [{データレイヤー変数名(例: seminar_participants): '渡したい値(例: true)'}];  
</script>
```

```
<script>  
dataLayer.push({データレイヤー変数名(例: seminar_participants): '渡したい値(例: true)'});  
</script>
```

上記の通り、値を渡すための書式は2種類あります。動作可能なタイミングが異なります。

書式	ページ内で一番最初に記述された場合	ページ内で二番目以降に記述された場合
<code>dataLayer = [{~~}];</code>	動作する	エラーになる
<code>dataLayer.push({~~});</code>	エラーになる	動作する

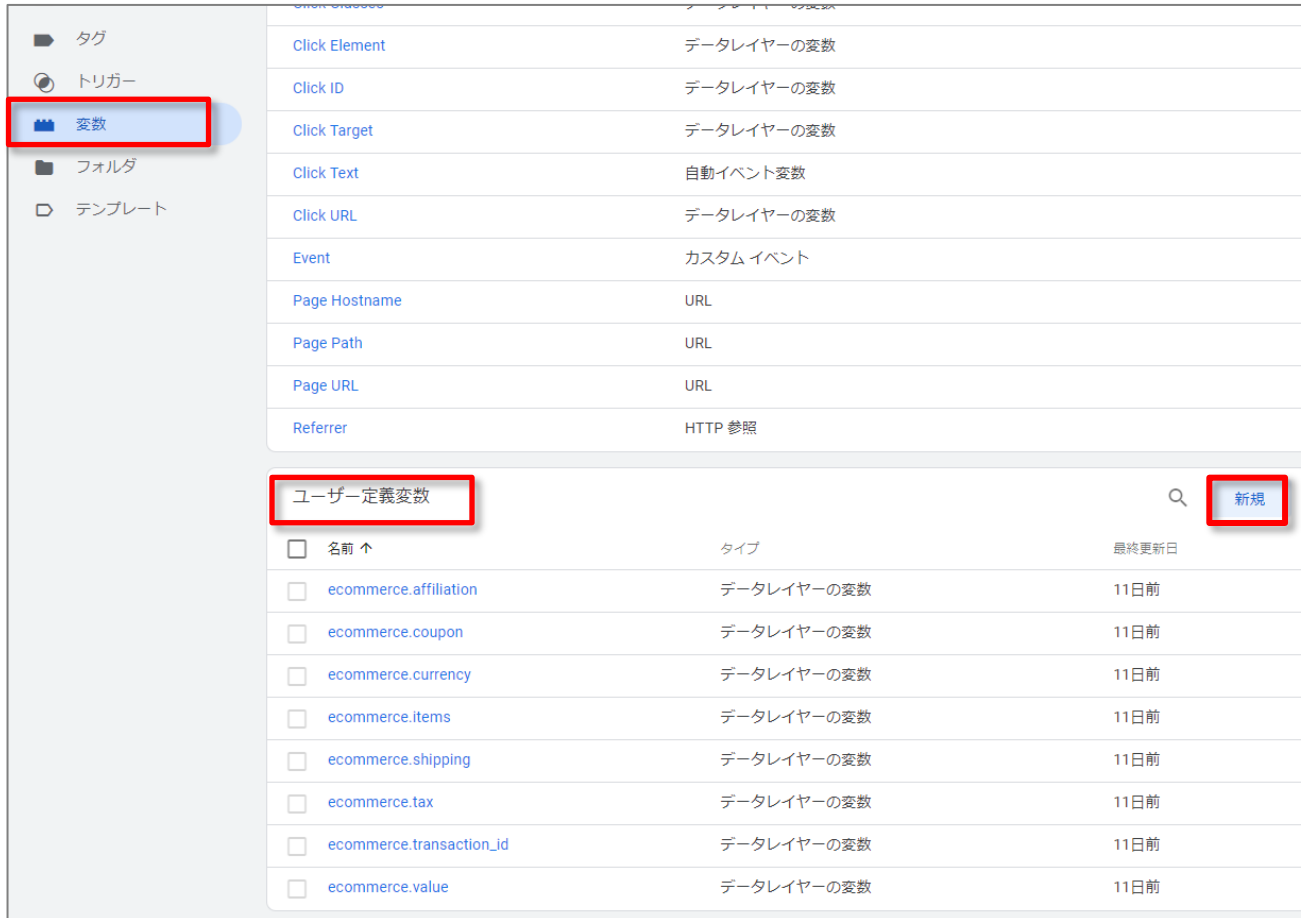
ページ内で一番最初にdataLayerを記述する場合は「=」で、二番目以降に記述する場合は「.push」となります。JavaScriptのルールとして「『=』は値を『代入』する、「『.push』は値を『追加』する、という違いがあります。

## ユーザー プロパティの設定例 (2)

まず、ユーザー ID 向けにデータレイヤー変数を作成します。

Google タグ マネージャーで、「変数」をクリックします。  
「ユーザー定義変数」の「新規」をクリックします。

GTMの画面



名前 ↑	タイプ	最終更新日
<input type="checkbox"/> Click Element	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Click ID	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Click Target	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Click Text	自動イベント変数	
<input type="checkbox"/> Click URL	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Event	カスタム イベント	
<input type="checkbox"/> Page Hostname	URL	
<input type="checkbox"/> Page Path	URL	
<input type="checkbox"/> Page URL	URL	
<input type="checkbox"/> Referrer	HTTP 参照	
<b>ユーザー定義変数</b>		
<input type="checkbox"/> ecommerce.affiliation	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.coupon	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.currency	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.items	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.shipping	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.tax	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.transaction_id	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.value	データレイヤーの変数	11日前

## ユーザー プロパティの設定例 (3)

「データレイヤーの変数」を選択します。

# GTMの画面

The screenshot displays the GTM interface for configuring a variable. The main window shows a dialog titled '変数の設定' (Variable Settings) with a central button and the text '変数タイプを選択して設定を開始...' (Select variable type to start setting...). A secondary window on the right lists various variable types, with 'データレイヤーの変数' (Data Layer Variable) highlighted in a red box.

変数の設定

変数タイプを選択して設定を開始...  
詳細

ナビゲーション

- HTTP 参照  
この値は、HTTP 参照に設定されます。
- URL

ページ変数

- JavaScript 変数  
この値は、指定したグローバル JavaScript 変数に設定されます。
- カスタム JavaScript  
この変数では、指定した JavaScript 関数に基づきブラウザでその値を計算します。この変数が使用されるたびに、JavaScript 関数が実行され、その戻り値が使用されます。
- データレイヤーの変数**
- ファーストパーティ Cookie  
この値は、名前が一致するファーストパーティ Cookie の最初の値に設定されます。

ページ要素

- DOM 要素  
この値は、DOM 要素のテキストまたは指定した DOM 要素の属性の値に設定されます。
- 自動イベント変数
- 要素の視認性  
この値は、指定された DOM 要素の視認性に基づいて設定されます。

ユーティリティ

- Google アナリティクス設定  
この変数では、複数の Google アナリティクス タグに適用する Google アナリティクス設定を指定できます。

## ユーザー プロパティの設定例 (4)

# GTMの画面

上部に変数の名前を入力します。

「データレイヤーの変数名」フィールドに、ユーザー ID 変数の名前  
（「seminar\_participants」）を入力します。

「デフォルト値」は「false」（フォールス）に設定しておきます。

「保存」をクリックします。

The screenshot shows the configuration interface for a user property in Google Tag Manager. The variable name 'seminar\_participants' is entered in the 'Data Layer Variable Name' field. The 'Default Value' is set to 'false'. The 'Save' button is highlighted in the top right corner.

変数の設定

変数のタイプ

データレイヤーの変数

データレイヤーの変数名 ⓘ

seminar\_participants

データレイヤーのバージョン

バージョン 2

デフォルト値を設定

デフォルト値 ⓘ

false

> 値の形式 ⓘ

保存



## ユーザー プロパティの設定例 (5)

Google タグ マネージャーで、「タグ」をクリックします。  
「Google アナリティクス 4 設定タグ」を選択します。

現在のワークスペース: Default Workspace

タグ

名前 ↑	タイプ	配信トリガー	最終更新
<input type="checkbox"/> add_to_cart	Google アナリティクス: GA4 イベント	add_to_cart	1日前
<input type="checkbox"/> ga4-quick.and-aaa.com	Google アナリティクス: GA4 設定	All Pages	1ヶ月前
<input type="checkbox"/> GA4_text_download	Google アナリティクス: GA4 イベント	GA4_text_download	12日前
<input type="checkbox"/> Navi_Kenshuu_Click	Google アナリティクス: GA4 イベント	ナビゲーション「研修」クリック	11日前
<input type="checkbox"/> purchase	Google アナリティクス: GA4 イベント	セミナー申込完了ページ	10日前
<input type="checkbox"/> select_item	Google アナリティクス: GA4 イベント	select_item	14時間前
<input type="checkbox"/> view_item	Google アナリティクス: GA4 イベント	view_item	
<input type="checkbox"/> view_item_list	Google アナリティクス: GA4 イベント	view_item_list	
<input type="checkbox"/> view_promotion	Google アナリティクス: GA4 イベント	view_promotion	15時間前

計測の際に最初に設定する、一番おおもとのタグ、「Google アナリティクス 4 設定タグ」。

GTMの画面

## ユーザー プロパティの設定例 (6)

「タグの設定」で「ユーザー プロパティ」をクリックします。  
「行を追加」をクリックします。

GTMの画面

The screenshot shows the 'Tag Settings' (タグの設定) interface for a 'Google Analytics: GA4 Setting' (Google アナリティクス: GA4 設定) tag. The 'Measurement ID' (測定 ID) is G-NMGXZVVKQW. The 'User Properties' (ユーザー プロパティ) section is highlighted with a red box. Below this, the expanded view shows a table with columns for 'Property Name' (プロパティ名) and 'Value' (値). A red box highlights the 'Add Row' (行を追加) button.

プロパティ名	値
<a href="#">行を追加</a>	

## ユーザー プロパティの設定例 (7)

「ユーザー プロパティ」の「フィールド名」に「seminar\_participants」と入力します。  
「値」フィールドで、作成したデータレイヤー変数を選択します。  
「保存」をクリックします。

GTMの画面

保存

タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 設定  
Google マーケティングプラットフォーム

測定 ID 🔗

G-NMGXZVVKQW 🗑️

この設定が読み込まれるときにページビューイベントを送信する

サーバー コンテナに送信する 🔗

> 設定フィールド

▼ ユーザー プロパティ

プロパティ名	値
seminar_participants <small>🗑️</small>	{{seminar_participants}} <small>🗑️</small> <small>⊖</small>

[行を追加](#)

> 詳細設定

作成したデータレイヤー変数  
{{seminar\_participants}}



## ユーザー プロパティ 'seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (1)

「ユーザー プロパティ」とは、ユーザーを表す属性を意味します。

再掲載

ここでは、本セミナーに申し込んで頂いたユーザーに

'seminar\_participants': 'true'

という値を付与するという例を考えます。

セミナー申込完了ページに到達したら、

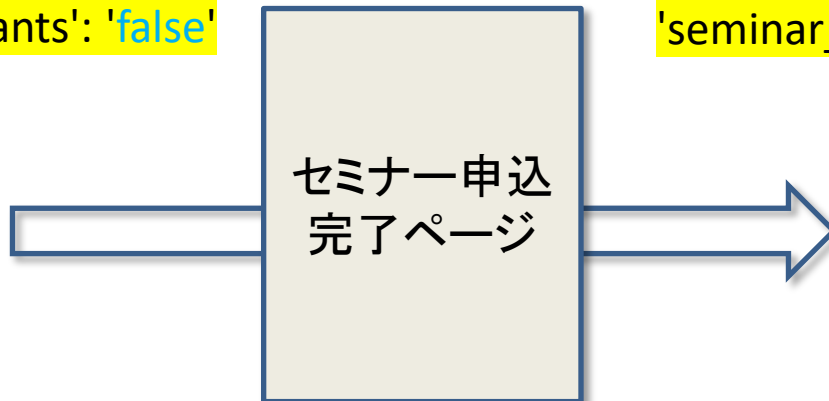
'seminar\_participants': 'true'

というユーザー プロパティが与えられられるようにします。

デフォルト:

'seminar\_participants': 'false'

(フォールス)

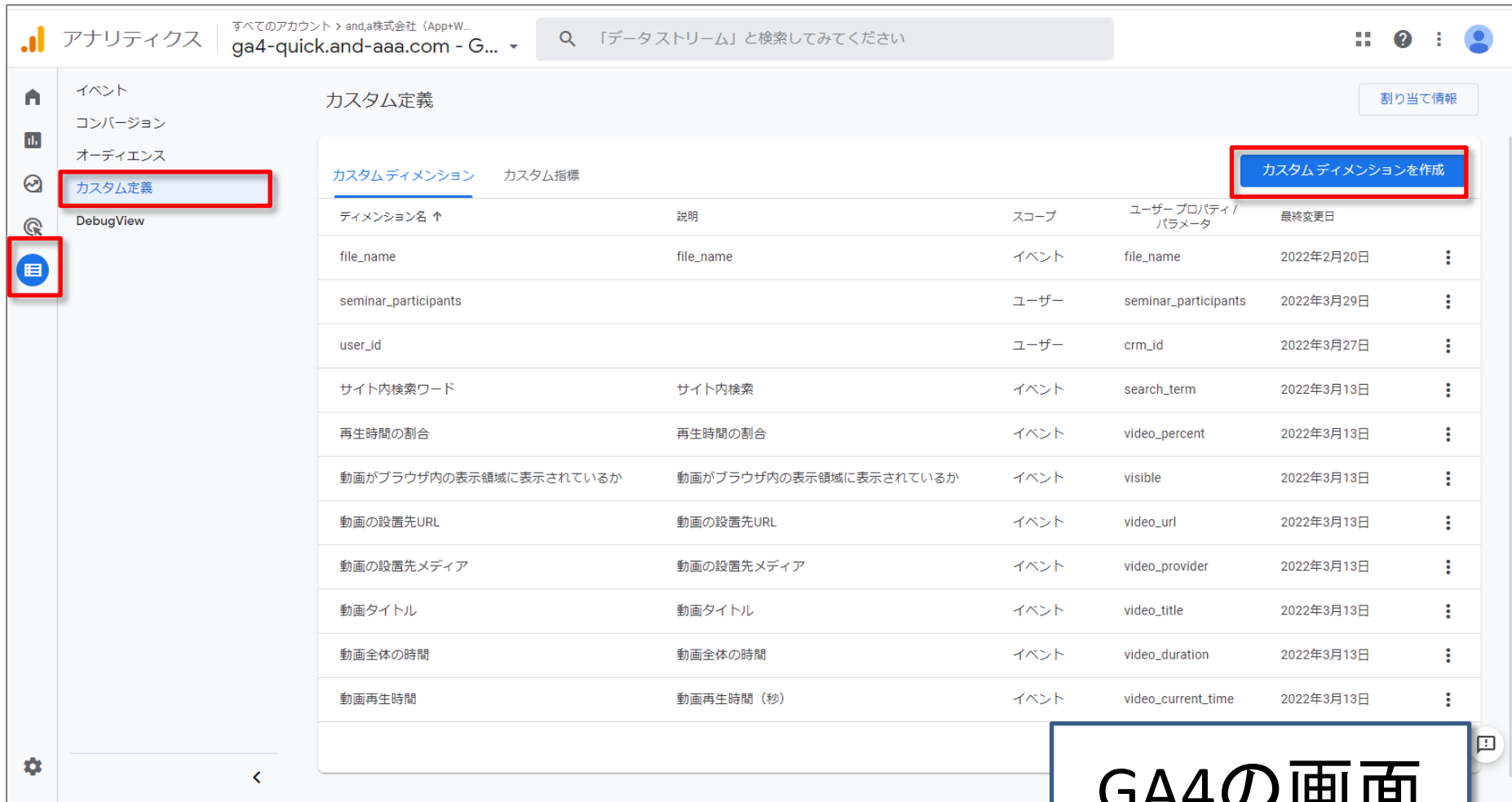


'seminar\_participants': 'true'



# ユーザー プロパティ 'seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (2)

設定 > カスタム定義 > カスタム ディメンションを作成をクリックします。



アナリティクス | すべてのアカウント > and,a株式会社 (App+W... | ga4-quick.and-aaa.com - G... | 「データストリーム」と検索してみてください

イベント  
コンバージョン  
オーディエンス  
**カスタム定義**  
DebugView

カスタム定義

割り当て情報

**カスタム ディメンションを作成**

カスタム ディメンション	カスタム指標			
ディメンション名 ↑	説明	スコープ	ユーザー プロパティ / パラメータ	最終変更日
file_name	file_name	イベント	file_name	2022年2月20日
seminar_participants		ユーザー	seminar_participants	2022年3月29日
user_id		ユーザー	crm_id	2022年3月27日
サイト内検索ワード	サイト内検索	イベント	search_term	2022年3月13日
再生時間の割合	再生時間の割合	イベント	video_percent	2022年3月13日
動画がブラウザ内の表示領域に表示されているか	動画がブラウザ内の表示領域に表示されているか	イベント	visible	2022年3月13日
動画の設置先URL	動画の設置先URL	イベント	video_url	2022年3月13日
動画の設置先メディア	動画の設置先メディア	イベント	video_provider	2022年3月13日
動画タイトル	動画タイトル	イベント	video_title	2022年3月13日
動画全体の時間	動画全体の時間	イベント	video_duration	2022年3月13日
動画再生時間	動画再生時間 (秒)	イベント	video_current_time	2022年3月13日

GA4の画面

## ユーザー プロパティ' seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (3)

「ユーザー プロパティ」に「 seminar\_participants 」指定して、「ディメンション名」を「 seminar\_participants 」設定。

× 新しいカスタムディメンション 保存

ディメンション名 ②

範囲 ②

説明 ②

ユーザー プロパティ ②

GA4の画面

## ユーザー プロパティ' seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (4)

- (1)プルダウン メニューから「ユーザー」を選択します。
- (2)カスタム ディメンションの「説明」を入力します。
- (3)リストから「ユーザー プロパティ」を選択するか、今後収集する「プロパティ」の名前を入力します。
- (4)「保存」をクリックします。

The screenshot shows the '新しいカスタムディメンション' (New Custom Dimension) dialog box in Google Analytics 4. The dialog has a title bar with a close button and a '保存' (Save) button. The main area contains four fields:

- ディメンション名** (Dimension Name): A text input field containing 'seminar\_participants'. A red box highlights this field with the number (1).
- 範囲** (Scope): A dropdown menu with 'ユーザー' (User) selected. A red box highlights this dropdown with the number (1).
- 説明** (Description): A text input field containing 'セミナー参加者' (Seminar participant). A red box highlights this field with the number (2).
- ユーザー プロパティ** (User Property): A dropdown menu with 'seminar\_participants' selected. A red box highlights this dropdown with the number (3).

The '保存' (Save) button is highlighted with a red box and the number (4). A blue box at the bottom right of the dialog contains the text 'GA4の画面' (GA4 screen).

## ユーザー プロパティ 'seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (5)

作成した「カスタム ディメンション」は、「比較を追加+」をクリックして、右サイドで検索して呼び出すことができます。反映されるまで、しばらく時間が掛かります。

「比較を追加+」

アナリティクス | すべてのアカウント > and,a株式会社 (id:and,a) > ga4-quick.and-aaa.com - G... | 「データストリーム」と検索してみてください

レポートのスナップショット | リアルタイム | ユーザー | ユーザー属性 | テクノロジー | ライフサイクル | 集客 | エンゲージメント | 収益化 | 維持率

すべてのユーザー | 比較を追加 +

ユーザー	新しいユーザー	平均エンゲージメント時間	合計収益
1,433	1,331	0分54秒	¥91万

過去 30 分間のユーザー  
1  
1分あたりのユーザー数

上位の国	ユーザー
United States	1

比較の作成

条件 (5個まで作成)

含む ▼ ディメンション

ディメンションを選択してください

カスタム (イベントスコープ)

- file\_name
- サイト内検索ワード
- 再生時間の割合
- 動画がブラウザ内の表示領域に...
- 動画の設置先URL

GA4の画面



# ユーザー プロパティ 'seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (6)

作成した「カスタム ディメンション」は、「比較を追加+」をクリックして、右サイドで「← 比較の作成」を呼び出します。

「比較を追加+」

The screenshot shows the Google Analytics interface with the 'Add Comparison' dialog box open. The dialog box is titled '比較の作成' (Create Comparison) and has a close button (X). It contains the following elements:

- 条件 (5 個まで作成) (Conditions (up to 5))
- 含む ▼ ディメンション (Include ▼ Dimension) with a dropdown menu showing 'seminar\_participants'.
- ディメンションの値 (Dimension value) with a dropdown menu showing 'ディメンションの値を選択' (Select dimension value).
- Two radio buttons for 'false' and 'true'.
- Buttons for 'キャンセル' (Cancel) and 'OK'.

Red arrows point from the '比較を追加 +' button in the main interface to the dialog box, and from the 'seminar\_participants' dropdown to the text below.

カスタムディメンション名 seminar\_participants を呼び出しています。

# ユーザー プロパティ 'seminar\_participants' カスタム ディメンションに設定 (7)

カスタムディメンション「seminar\_participants :true」が掛かった状態でグラフを見ています。



---

# 「ユーザー ID」と「ユーザー プロパティ」(1) 「ユーザー ID」の設定

# ユーザー ID (1)

---

ユーザー ID (User-ID) は、もともとGA側が用意したユーザーに紐づく機能ですが、ユーザープロパティと似ている部分もあります。

今回は、ユーザープロパティの説明する回ですが、ユーザー IDについてもご説明します。

ユーザー ID (User-ID) 機能を使用すると、自社で生成したユーザー ID を個々のユーザーに関連付け、さまざまな

- セッション
- デバイス
- プラットフォーム

をまたいで各ユーザーの行動を把握できます。

アナリティクスでは、ユーザー ID (User-ID) によって個々のユーザーを判別するため、ユーザーの数をより正確にカウントすることができます。

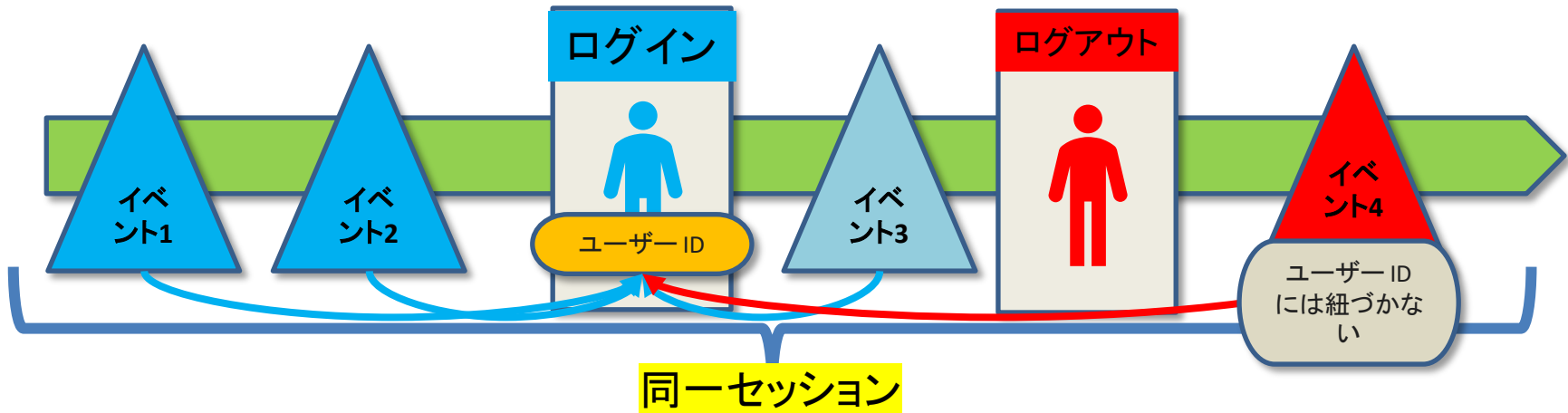
公式ヘルプ <https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/user-id?technology=tagmanager>

## ユーザー ID (補足資料)

ユーザーが、ユーザー ID との関連付けがない状態でセッションを開始し、イベント 1 と イベント 2 を発生させたとします。

この時点では、これらのイベントにユーザー ID は関連付けられていません。

次に、ユーザーがログインしたうえで、イベント 3 を発生させたとします。この時点で、イベント 1~3 がすべてそのユーザーの ID と関連付けられます。



最後に、ユーザーがログアウトしたうえでイベント 4 を発生させたとします。イベント 4 にはユーザー ID が関連付けられません。イベント 1~3 はそのユーザーに関連付けられたままとなります。

公式ヘルプ <https://support.google.com/analytics/answer/9213390?hl=ja>

## 参考:ユーザーIDを実装すると、どんな分析ができるか

ログインしているユーザーとログインしていないユーザーを比較する

ログインしているユーザーとログインしていないユーザーの行動を比較するには、「ユーザーIDでログイン済み」ディメンションを使用して比較を作成し、「ディメンションの値」を「yes」に設定します。

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/9213390#what-you-can-do-with-user-id>

The image shows a sequence of three screenshots from the Google Analytics interface, illustrating how to create a comparison for 'User ID Logged In'.

- Left Screenshot:** Shows the 'Collect Summary' (集客サマリー) report. A red box highlights the '比較を追加 +' (Add Comparison) button. A red box with the text 「比較を追加+」 (Add Comparison+) points to this button.
- Middle Screenshot:** Shows the 'Comparison Creation' (比較の作成) dialog. A red box highlights the 'ユーザー ID でログイン済み' (User ID Logged In) dimension. An orange arrow points from this box to the right screenshot.
- Right Screenshot:** Shows the 'Comparison Creation' dialog with the 'User ID Logged In' dimension selected. A red box highlights the 'ディメンションの値' (Dimension Value) field, which is set to 'yes'. Another red box highlights the 'ユーザー ID でログイン済み' dimension name. At the bottom, a blue box contains the text '含む ユーザー ID でログイン済み = yes' (Includes User ID Logged In = yes).

## 参考:ユーザーIDを実装すると、どんな分析ができるか

下記のように「『ユーザーIDでログイン済み』に含まれる要素 yes」のセグメントを取り出して見ることができるようになります。



「ユーザーIDでログイン済み」に含まれる要素 yes

## ユーザー ID (2)

---

### ステップ 1: ユーザー ID を生成する

各ユーザーに自身で一意的 ID を作成するほか、新しいユーザーに ID を割り当て、リピーターには同じ ID を継続的に再割り当てする必要があります。

**データレイヤーにユーザー ID が出力されるようにするには、システム開発が必要です。**

これは通常、ログイン中に行われます。

たとえば、ユーザーがログインしたときに、そのユーザーのメールアドレスを使って、サイト全体で参照することができる一意的 ID を生成できます。

各ユーザー ID は 256 文字未満で指定する必要があります。

公式ヘルプ <https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/user-id?technology=tagmanager>



## ユーザー ID (3)

---

ステップ 2: ユーザー ID を Google アナリティクスに送信する

ユーザー ID をアナリティクスに送信する前に、GA4設定タグを作成して、以下のように生成されたユーザー ID をデータレイヤーに追加します(次ページ参照)。

```
<script>  
dataLayer.push({  
  'user_id': 'USER_ID'  
});  
</script>
```

データレイヤーにユーザー IDが出力されるようにするには、システム開発が必要です。

公式ヘルプ <https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/user-id?technology=tagmanager>

## ユーザー ID (4)

例として、このセミナーの登録完了ページに、下記のようなデータレイヤーを書き込みました。

[https://ga4-quick.and-aaa.com/thanks/ga4\\_thanks20220616.html](https://ga4-quick.and-aaa.com/thanks/ga4_thanks20220616.html)

```
<script>  
dataLayer.push({  
  'user_id': 'USER_ID'  
});  
</script>
```

データレイヤーにユーザーIDが出力されるようにするには、システム開発が必要です。

```
1 |<html lang="ja" >↓  
2 |<head>↓  
3 |↓  
4 |<script>↓  
5 |dataLayer = [{↓  
6 |  event: "purchase",↓  
7 |  ecommerce: {↓  
8 |    transaction_id: "014-7",↓  
9 |    affiliation: "GA4 Quick",↓  
10 |    value: 10000,↓  
11 |    tax: 1000,↓  
12 |    shipping: 500,↓  
13 |    currency: "JPY",↓  
14 |    coupon: "2022_SPRING_SEMINAR",↓  
15 |    items: [{↓  
16 |      item_name: "2022_SPRING_SEMINAR_14",↓  
17 |      item_id: "22ss14",↓  
18 |      price: 10000,↓  
19 |      item_brand: "and,a",↓  
20 |      item_category: "Online_Seminar",↓  
21 |      item_variant: "ZOOM",↓  
22 |      quantity: 1↓  
23 |    }↓  
24 |  ]↓  
25 | }];↓  
26 |</script>↓  
27 |↓  
28 |<script>↓  
29 |dataLayer.push({↓  
30 |  'user_id': '2022_SPRING_SEMINAR_0616'↓  
31 | });↓  
32 |</script>↓  
33 |↓  
34 |↓  
35 |↓
```

# ユーザー ID (5)

まず、ユーザー ID 用のデータレイヤー変数を作成します。

Google タグ マネージャーで、「変数」をクリックします。  
「ユーザー定義変数」で「新規」をクリックします。

名前 ↑	タイプ	最終更新日
<input type="checkbox"/> Click Element	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Click ID	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Click Target	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Click Text	自動イベント変数	
<input type="checkbox"/> Click URL	データレイヤーの変数	
<input type="checkbox"/> Event	カスタム イベント	
<input type="checkbox"/> Page Hostname	URL	
<input type="checkbox"/> Page Path	URL	
<input type="checkbox"/> Page URL	URL	
<input type="checkbox"/> Referrer	HTTP 参照	
<b>ユーザー定義変数</b>		
<input type="checkbox"/> ecommerce.affiliation	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.coupon	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.currency	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.items	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.shipping	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.tax	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.transaction_id	データレイヤーの変数	11日前
<input type="checkbox"/> ecommerce.value	データレイヤーの変数	11日前

# ユーザー ID (6)

「データレイヤーの変数」を選択します。

無題の変数

保存

変数の設定

変数タイプを選択して設定を開始...  
詳細

変数タイプを選択

コミュニティ テンプレート ギャラリーで変数タイプをさらに見つけましょう

ナビゲーション

- HTTP 参照  
この値は、HTTP 参照に設定されます。
- URL

ページ変数

- JavaScript 変数  
この値は、指定したグローバル JavaScript 変数に設定されます。
- カスタム JavaScript  
この変数では、指定した JavaScript 関数に基づきブラウザでその値を計算します。この変数が使用されるたびに、JavaScript 関数が実行され、その戻り値が使用されます。
- データレイヤーの変数**
- ファーストパーティ Cookie  
この値は、名前が一致するファーストパーティ Cookie の最初の値に設定されます。

ページ要素

- DOM 要素  
この値は、DOM 要素のテキストまたは指定した DOM 要素の属性の値に設定されます。
- 自動イベント変数
- 要素の視認性  
この値は、指定された DOM 要素の視認性に基づいて設定されます。

ユーティリティ

- Google アナリティクス設定  
この変数では、複数の Google アナリティクス タグに適用する Google アナリティクス設定を指定できます。

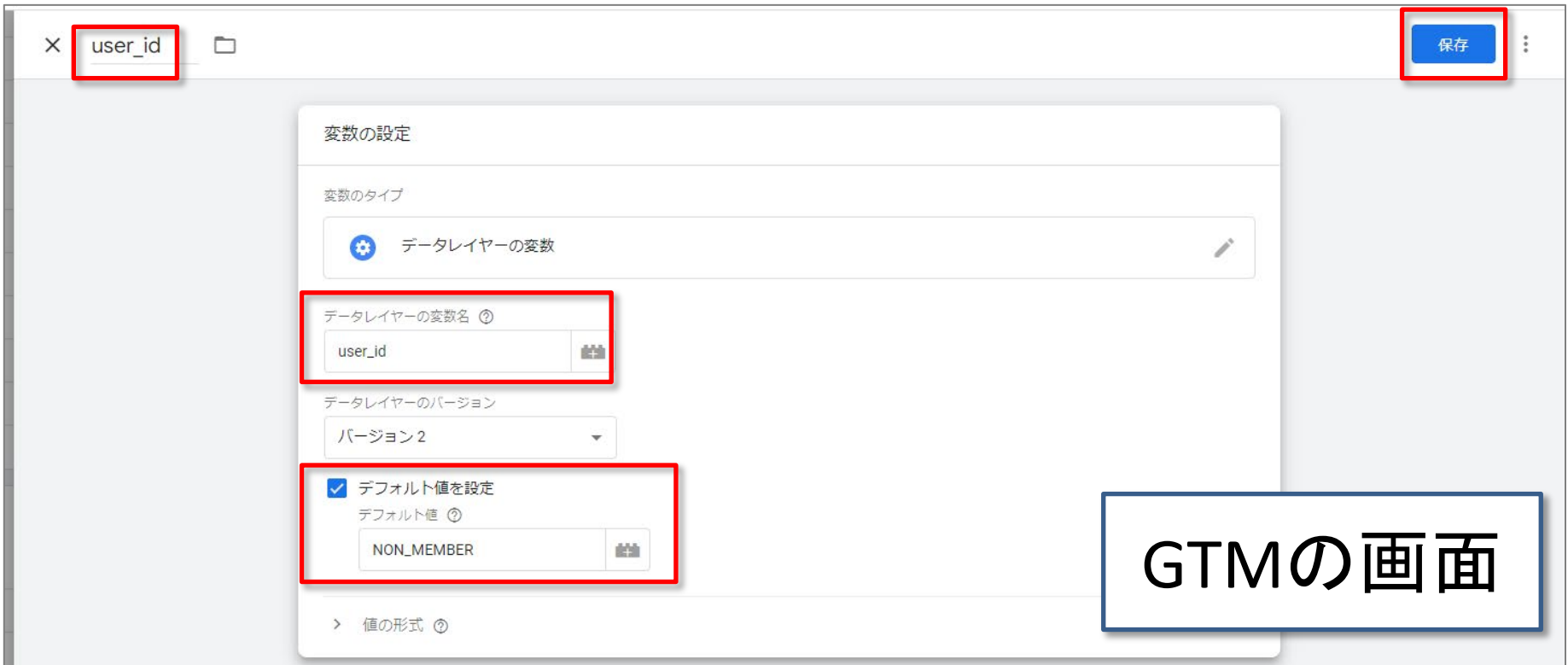
GTMの画面

## ユーザー ID (7)

上部に変数の名前を入力します。

「データレイヤーの変数名」フィールドに、ユーザー ID 変数名 = 「user\_id」を入力します。  
「保存」をクリックします。

下記では「デフォルト値」を「NON\_MEMBER」に設定してあります。



The screenshot displays the GTM configuration interface for a variable named 'user\_id'. The variable is configured as a 'Data Layer Variable'. The 'Data Layer Variable Name' is set to 'user\_id'. The 'Data Layer Version' is set to 'バージョン 2'. The 'Set default value' checkbox is checked, and the default value is set to 'NON\_MEMBER'. The 'Save' button is highlighted in red. A blue box with the text 'GTMの画面' is overlaid on the bottom right of the interface.

## ユーザー ID (8)

Google タグ マネージャーで、「タグ」をクリックします。  
「Google アナリティクス 4 設定タグ」を選択します。

計測の際に最初に設定する、一番おおもとのタグ、「Google アナリティクス 4 設定タグ」。

The screenshot shows the Google Tag Manager interface. The main content area displays a list of tags under the heading 'タグ'. The table below summarizes the visible tags:

名前	タイプ	配信トリガー	最終更新
名前 ↑			
add_to_cart	Google アナリティクス: GA4 イベント	add_to_cart	1日前
ga4-quick.and-aaa.com	Google アナリティクス: GA4 設定	All Pages	1ヶ月前
GA4_text_download	Google アナリティクス: GA4 イベント	GA4_text_download	12日前
Navi_Kenshuu_Click	Google アナリティクス: GA4 イベント	ナビゲーション「研修」クリック	11日前
purchase	Google アナリティクス: GA4 イベント	セミナー申込完了ページ	10日前
select_item	Google アナリティクス: GA4 イベント	select_item	14時間前
view_item	Google アナリティクス: GA4 イベント	view_item	15時間前
	Google アナリティクス: GA4 イベント	view_item_list	15時間前
	Google アナリティクス: GA4 イベント	view_promotion	15時間前

GTMの画面

## ユーザー ID (9)

「タグの設定」で「設定フィールド」をクリックします。(user\_idの設定は、「ユーザー プロパティ」ではなく「設定フィールド」を使用する。)  
「行を追加」をクリックします。

### 公式ヘルプ

<https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/user-id?technology=tagmanager>

GTMの画面

タグの設定

タグの種類



Google アナリティクス: GA4 設定  
Google マーケティングプラットフォーム

測定 ID ⓘ

G-NMGXZVVKQW



この設定が読み込まれるときにページビュー イベントを送信する

サーバー コンテナに送信する ⓘ

▼ 設定フィールド

フィールド名

debug\_mode



値

true



行を追加

> ユーザー プロパティ

> 詳細設定

## ユーザー ID (10)

「設定フィールド」の「フィールド名」に「user\_id」と入力して、アナリティクスでユーザーIDが認識されるようにします。

「値」フィールドで、作成したデータレイヤー変数を選択します。  
「保存」をクリックします。

GTMの画面

タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 設定  
Google マーケティング プラットフォーム

測定 ID ⓘ

G-NMGXZVVKQW

この設定が読み込まれるときにページビューイベントを送信する

サーバー コンテナに送信する ⓘ

▼ 設定フィールド

フィールド名	値
debug_mode	true
user_id	{{user_id}}

行を追加

> ユーザー プロパティ

> 詳細設定

作成したデータレイヤー変数  
{{user\_id}}



# ユーザー ID (11)

例でDataLayerを書いた

[https://ga4-quick.and-aaa.com/ga4\\_seminar\\_thanks/ga4\\_thanks20220616.html](https://ga4-quick.and-aaa.com/ga4_seminar_thanks/ga4_thanks20220616.html)  
が閲覧されると、セミナー第3回でご紹介した「設定 > DebugView」で、ユーザープロパティとしてuser\_idが計測されたことが確認されます。

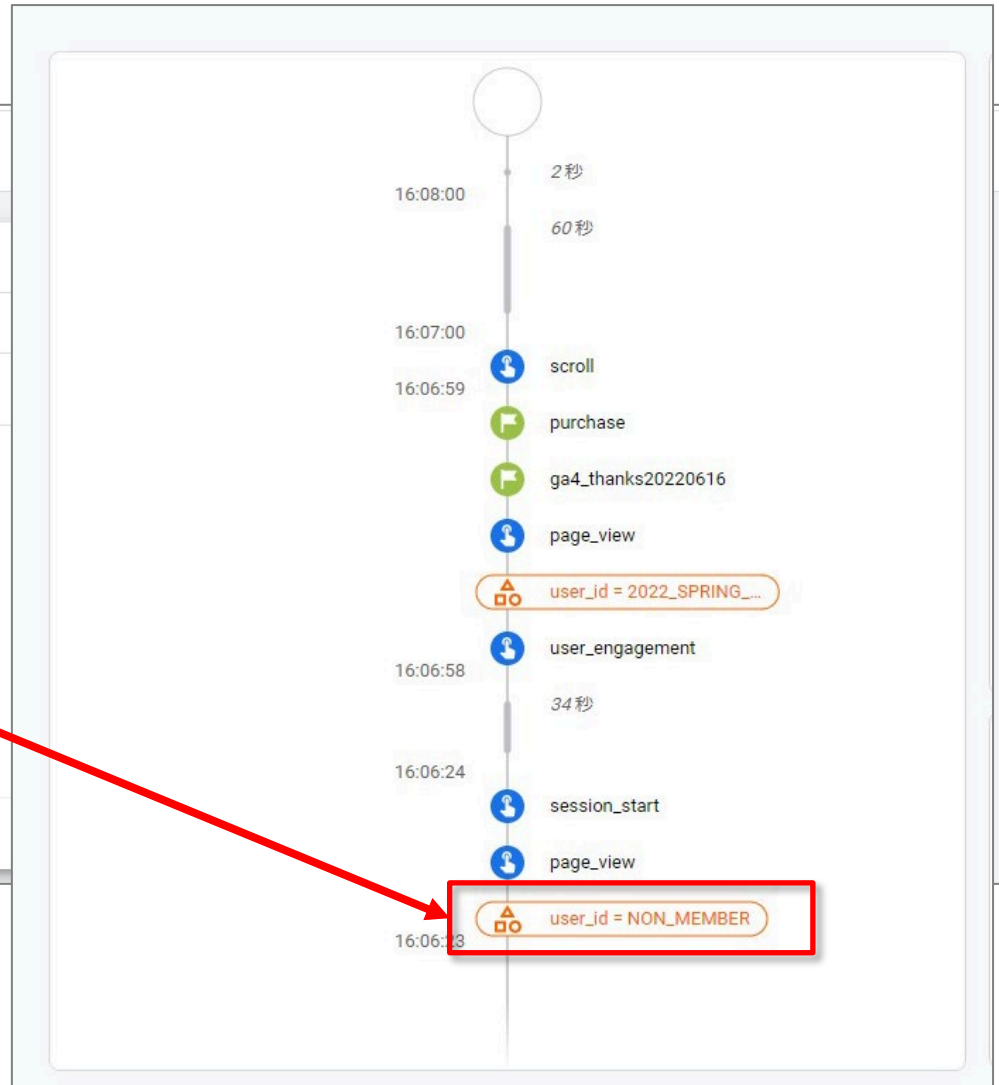
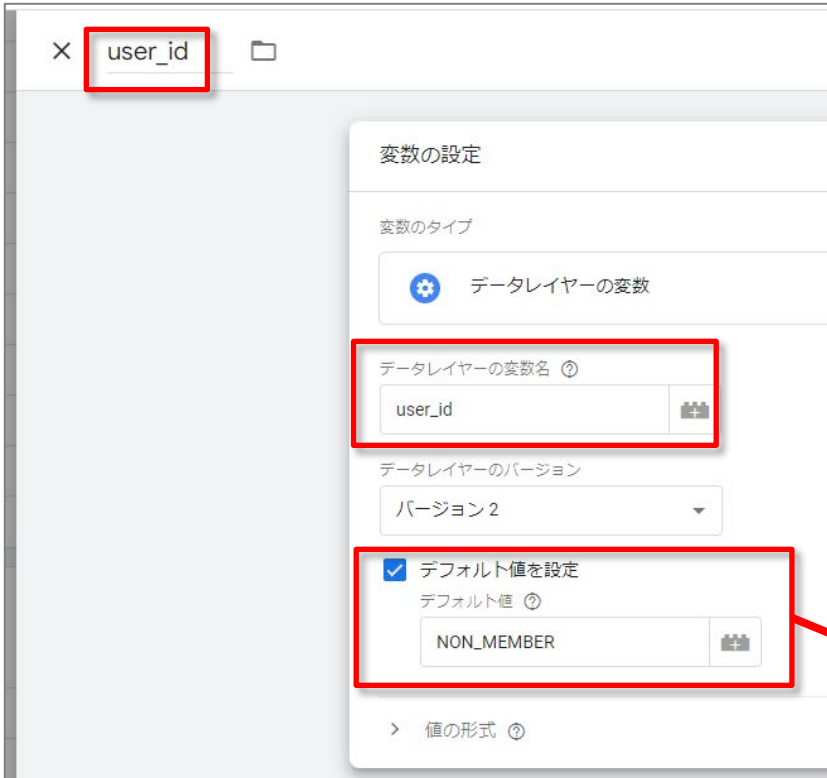
The screenshot displays the Google Analytics DebugView interface. On the left, a vertical timeline shows events from 16:06:23 to 16:08:00. Two red boxes highlight specific user\_id values: 'user\_id = 2022\_SPRING\_...' at 16:06:58 and 'user\_id = NON\_MEMBER' at 16:06:23. The right panel shows a list of events with counts, including 'user\_engagement' (1) and 'user\_engagement' (1). The bottom right panel shows the current active user property as 'NON\_MEMBER'.

イベント	直前の 30 分
page_view	2
ga4_thanks20220616	1
purchase	1
scroll	1
session_start	1
user_engagement	1

現在アクティブなユーザー プロパティ
user_id: NON_MEMBER

## ユーザー ID (12)

ユーザー ID 向けにデータレイヤー変数を作成した際に、「デフォルト値を設定」にチェックを入れて、デフォルト値が設定してありました。デフォルト値を取得したことも、DebugViewで確認できます。



---

「ユーザー ID」と「ユーザー プロパティ」(2)  
user\_id は予約済みのプロパティ名の  
ため、レポートやデータ探索で  
直接アクセスすることが出来ない件

## user\_id は予約済みのプロパティ名 (1)

### ID にアクセスする

user\_id は「予約済みのプロパティ名」(次ページ参照)のため、レポートや「探索」(別の回に解説)で直接アクセスすることはできません。すなわち、「カスタム ディメンション」として使うことができません。

### 予約済みの名前

一部のユーザー プロパティ名は予約済みのため、測定では使用できません。

first\_open\_time  
first\_visit\_time  
last\_deep\_link\_referrer  
user\_id  
first\_open\_after\_install

また、ユーザー プロパティ名の先頭を以下にすることはできません。

google\_  
ga\_  
firebase\_

公式ヘルプ [https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/protocol/ga4/user-properties?hl=ja&client\\_type=firebase](https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/protocol/ga4/user-properties?hl=ja&client_type=firebase)

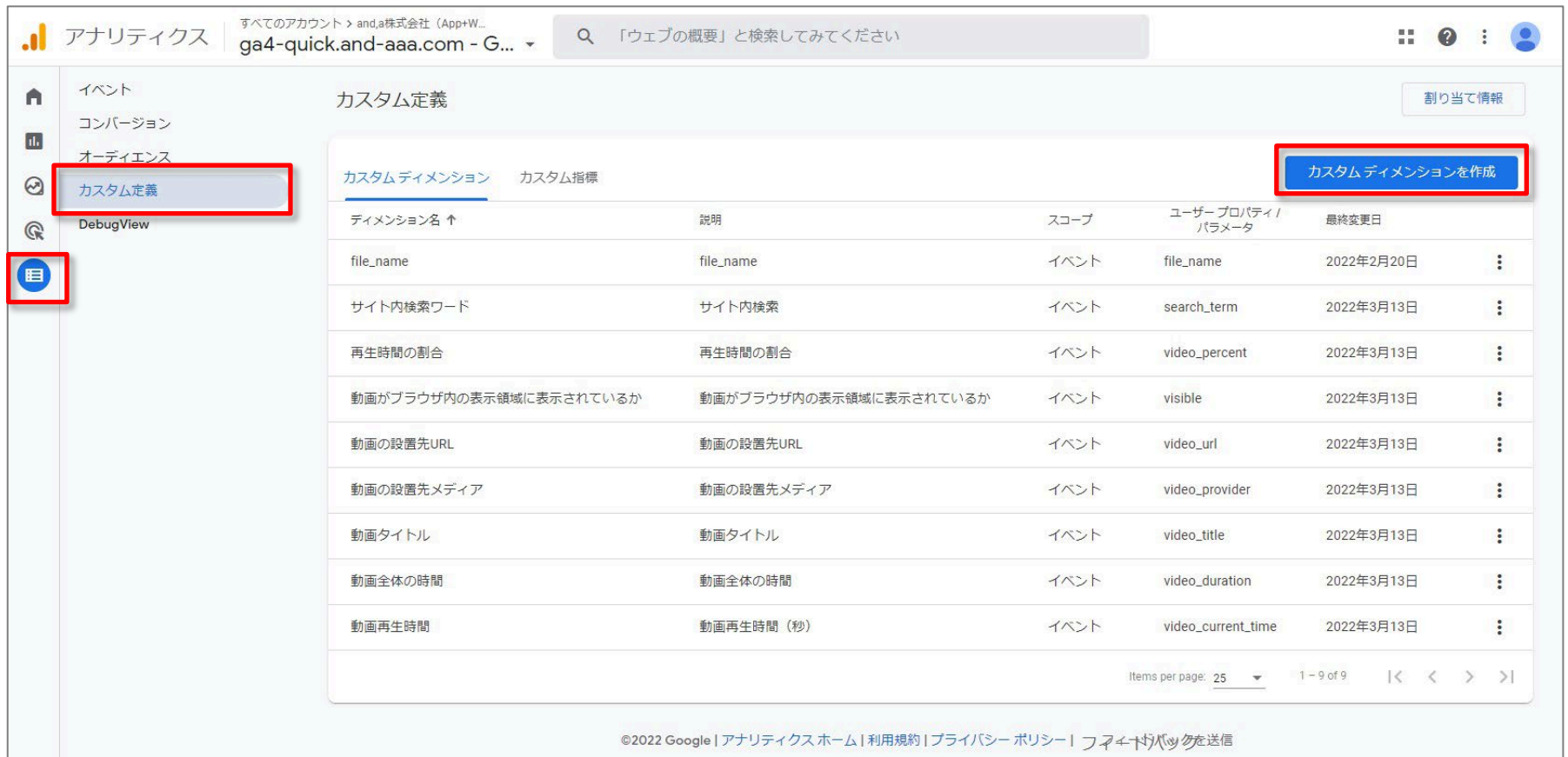
「user\_id」を「カスタム ディメンション」として使おうとすると、何が起こるか、やってみましょう。

公式ヘルプ: <https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/user-id?technology=tagmanager>

## user\_id は予約済みのプロパティ名 (2)

「user\_id」の値を、「カスタム ディメンション」として使いたい場合、「user\_id」という名前の「カスタム ディメンション」を作ることができるか、確認します。

設定 > カスタム定義で、「カスタムディメンションを作成」をクリック。



アナリティクス | すべてのアカウント > and,a株式会社 (App+W...  
ga4-quick.and-aaa.com - G... | 「ウェブの概要」と検索してみてください

カスタム定義

割り当て情報

カスタムディメンションを作成

カスタムディメンション	カスタム指標				
ディメンション名 ↑	説明	スコープ	ユーザープロパティ / パラメータ	最終変更日	
file_name	file_name	イベント	file_name	2022年2月20日	⋮
サイト内検索ワード	サイト内検索	イベント	search_term	2022年3月13日	⋮
再生時間の割合	再生時間の割合	イベント	video_percent	2022年3月13日	⋮
動画がブラウザ内の表示領域に表示されているか	動画がブラウザ内の表示領域に表示されているか	イベント	visible	2022年3月13日	⋮
動画の設置先URL	動画の設置先URL	イベント	video_url	2022年3月13日	⋮
動画の設置先メディア	動画の設置先メディア	イベント	video_provider	2022年3月13日	⋮
動画タイトル	動画タイトル	イベント	video_title	2022年3月13日	⋮
動画全体の時間	動画全体の時間	イベント	video_duration	2022年3月13日	⋮
動画再生時間	動画再生時間 (秒)	イベント	video_current_time	2022年3月13日	⋮

Items per page: 25 | 1 - 9 of 9 | < >

©2022 Google | アナリティクス ホーム | 利用規約 | プライバシーポリシー | フィードバックを送信

## user\_id は予約済みのプロパティ名 (3)

下記のように、「user\_id」という名前の「ユーザー プロパティ」を使って「カスタムディメンション」を作成しようとする、  
「『ユーザー プロパティ名』を『user\_id』にすることはできません。」と表示されます。

× 新しいカスタムディメンション 保存

ディメンション名  範囲 ユーザー

説明

ユーザー プロパティ ?  
  
ユーザー プロパティ名を「user\_id」にすることはできません。

ユーザー プロパティ ?  
  
ユーザー プロパティ名を「user\_id」にすることはできません。

## user\_id は予約済みのプロパティ名 (4)

---

「user\_id」を「カスタム ディメンション」に使いたいなら、「user\_id」と同じ値を持つ、「ユーザー プロパティ」を別途作っておく必要があります。

レポートおよびデータ探索で ID にアクセスするには、別の「ユーザー プロパティ」(crm\_id など)を設定し、その「ユーザー プロパティ」を「カスタム ディメンション」として保存します。たとえば、以下の例では、レポートとデータ探索でユーザー ID を確認できるように 2 つのパラメータを送信しています。

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
  user_id: "USER_ID",
  crm_id: "USER_ID"
});
</script>
```

値は同じだが、上の行は「ユーザーID」、下の行は「crm\_id」という「ユーザー プロパティ」のための記述。同じ値を2つの目的で取得している。

## user\_id は予約済みのプロパティ名 (5)

「ユーザー プロパティ」の設定を行います。「プロパティ名」に「crm\_id」、「値」には、「user\_id」用に作成したデータレイヤー変数と同じデータレイヤー変数を選択します。

タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 設定  
Google マーケティング プラットフォーム

測定 ID <sup>?</sup>

G-NMGXZVVKQW

この設定が読み込まれるときにページビューイベントを送信する

サーバー コンテナに送信する <sup>?</sup>

設定フィールド

フィールド名	値
debug_mode	true
user_id	{{user_id}}

行を追加

ユーザー プロパティ

プロパティ名	値
seminar_participants	{{seminar_participants}}
crm_id	{{user_id}}

行を追加

> 詳細設定

同じデータレイヤー変数を使用。



## user\_id は予約済みのプロパティ名 (6)

正しく設定できていれば、DebugViewで「crm\_id」が確認できます。

The image displays a web application interface with a DebugView overlay. The DebugView shows a timeline of events starting at 23:36:48. A red box highlights the event 'crm\_id = 2022\_SPRING...' at 23:36:48. A red arrow points from this event to a 'ユーザープロパティ' (User Properties) window. This window shows a list of properties, with 'crm\_id' and its value '2022\_SPRING\_SEMINAR\_0616' highlighted by a red box. Another red arrow points from the 'crm\_id' property to the event 'crm\_id = 2022\_SPRING...' at 23:36:48 in the DebugView. The DebugView also shows other events like 'user\_engagement', 'session\_start', and 'user\_id = 2022\_SPRING...'.

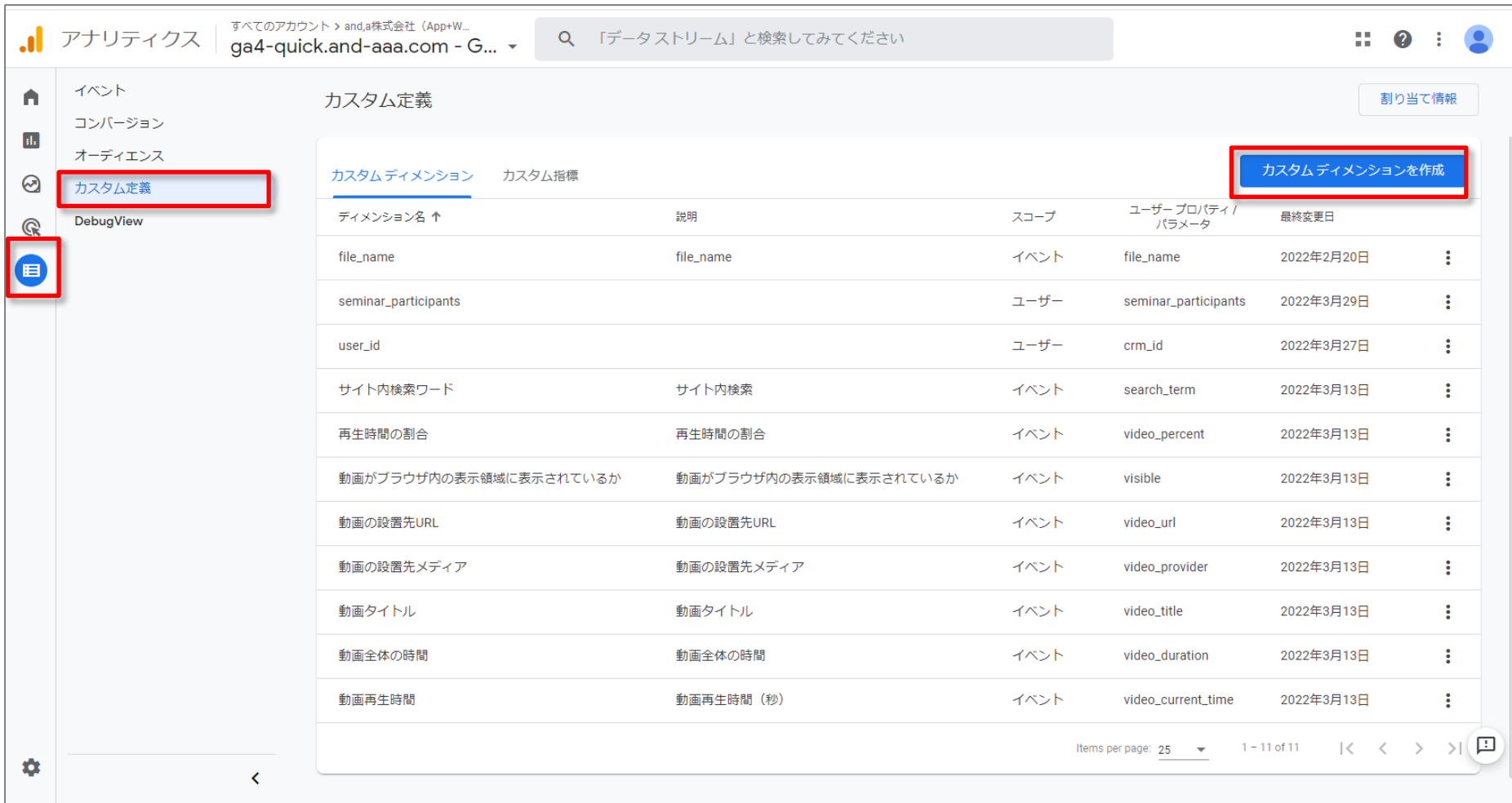
Property Name	Value
crm_id	2022_SPRING_SEMINAR_0616
seminar_participants	1
user_id	1

---

user\_idを  
カスタムディメンションに設定

# user\_idをカスタムディメンションとして使用する (1)

設定 > カスタム定義 > カスタム ディメンションを作成をクリックします。



アナリティクス | すべてのアカウント > and,a株式会社 (App+W...  
ga4-quick.and-aaa.com - G... | 「データストリーム」と検索してみてください

イベント  
コンバージョン  
オーディエンス  
**カスタム定義**  
DebugView

カスタム定義

割り当て情報

**カスタムディメンションを作成**

カスタムディメンション	カスタム指標				
ディメンション名 ↑	説明	スコープ	ユーザープロパティ / パラメータ	最終変更日	
file_name	file_name	イベント	file_name	2022年2月20日	⋮
seminar_participants		ユーザー	seminar_participants	2022年3月29日	⋮
user_id		ユーザー	crm_id	2022年3月27日	⋮
サイト内検索ワード	サイト内検索	イベント	search_term	2022年3月13日	⋮
再生時間の割合	再生時間の割合	イベント	video_percent	2022年3月13日	⋮
動画がブラウザ内の表示領域に表示されているか	動画がブラウザ内の表示領域に表示されているか	イベント	visible	2022年3月13日	⋮
動画の設置先URL	動画の設置先URL	イベント	video_url	2022年3月13日	⋮
動画の設置先メディア	動画の設置先メディア	イベント	video_provider	2022年3月13日	⋮
動画タイトル	動画タイトル	イベント	video_title	2022年3月13日	⋮
動画全体の時間	動画全体の時間	イベント	video_duration	2022年3月13日	⋮
動画再生時間	動画再生時間 (秒)	イベント	video_current_time	2022年3月13日	⋮

Items per page: 25 | 1 - 11 of 11 | < < > > | ?

## user\_idをカスタムディメンションとして使用する (2)

- (1)プルダウンメニューから「ユーザー」を選択します。
- (2)カスタムディメンションの [説明] を入力します。
- (3)リストから「ユーザープロパティ」を選択するか、今後収集する「プロパティ」の名前を入力します。
- (4)「保存」をクリックします。

× 新しいカスタムディメンション

(4) 保存

ディメンション名 ② (2) user\_id

(1) 範囲 ② ユーザー

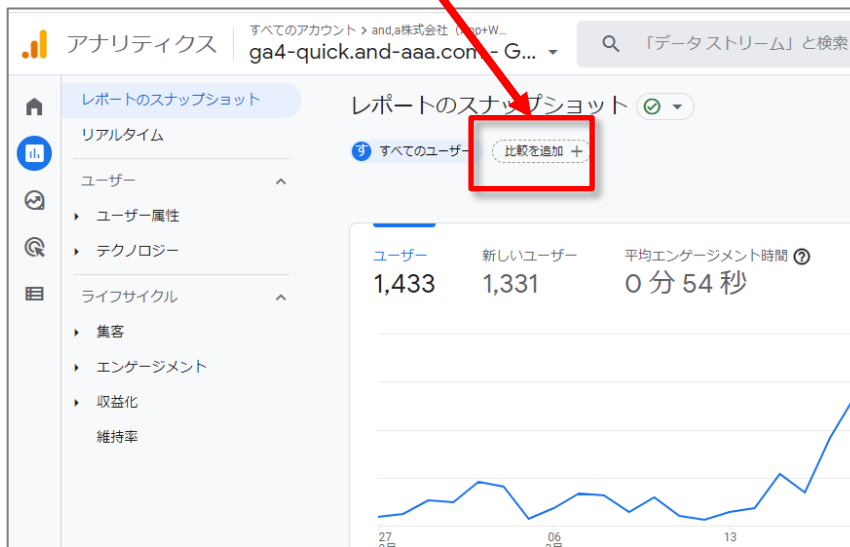
説明 ② user\_id

ユーザープロパティ ② (3) crm\_id

## user\_idをカスタムディメンションとして使用する (3)

作成した「カスタム ディメンション」は、「比較を追加+」をクリックして、右サイドで検索して呼び出すことができます。反映されるまで、しばらく時間が掛かります。

「比較を追加+」



比較の作成

条件 (5 個まで作成)

含む ▼ ディメンション

user\_id

ディメンションの値

ディメンションの値を選択

- 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0331
- 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0407
- 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0414
- 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0421
- NON\_MEMBER

キャンセル OK

比較の作成

条件 (5 個まで作成)

含む ▼ ディメンション

ディメンションを選択してください

カスタム (イベントスコープ)

- file\_name
- サイト内検索ワード
- 再生時間の割合
- 動画がブラウザ内の表示領域に...
- 動画の設置先URL

「use\_id」の値が入っているのが見えます

## user\_idをカスタムディメンションとして使用する (2)

ユーザーIDでセグメントを掛けた状態で、レポートを見ることができます。

The screenshot displays the Google Analytics interface. On the left, a line chart titled '集客サマリー' (Acquisition Summary) shows user trends over time. A red box highlights a filter '「user\_id」に含まれる...' (Included in 'user\_id') with a '比較を追加 +' (Add comparison) button. The chart shows two series: 'すべてのユーザー' (All users) with 1,774 users and '「user\_id」に含まれる要素' (Elements included in 'user\_id') with 4 users. The chart data points are approximately: 03月 (1,774), 05月 (1,000), 07月 (1,200), 09月 (1,100), 11月 (1,000), 13月 (1,100), 15月 (1,300), 17月 (1,800), 19月 (1,200).

In the center, a '比較の作成' (Create comparison) dialog is open. A red box highlights the '含む ディメンション' (Include dimension) dropdown menu, which is set to 'user\_id'. Below it, the 'ディメンションの値' (Dimension values) dropdown is set to '2022\_SPRING\_SEMINAR\_0331; 2022\_'. A red arrow points from this dialog to the right-hand dialog.

On the right, another '比較の作成' (Create comparison) dialog is shown. A red box highlights the '含む ディメンション' (Include dimension) dropdown menu, which is set to 'user\_id'. Below it, the 'ディメンションの値' (Dimension values) dropdown is set to '2022\_SPRING\_SEMINAR\_0331; 2022\_'. A red box highlights the '概要' (Summary) section, which displays the filter logic: '含む user\_id = 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0331 または 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0407 または 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0414 または 2022\_SPRING\_SEMINAR\_0421'.

---

テキストはここまでとなります。